

内容をご熟読ください



Owner's Guide
取扱説明書

次世代スマートスタイルセキュリティ
Next Generation

Smart Style

自動車盗難防止装置

純正キーレスエントリー連動モデル

MODEL

370V

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

この度はホーネットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。

本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2011年11月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社の登録商標です。
 KATO-DENKI ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。
 記載されている会社名、システム名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意.....	5
通信についての注意.....	5
使用上の注意.....	6
製品の説明	7
製品の説明.....	7
HORNET (ホーネット)とは.....	7
本書に出てくる主な用語の解説	7
梱包物をご確認ください	8
370V の梱包物	8
基本的な操作の仕方	9
リモコンのボタンについて	9
ホーネットを作動させる.....	9
ホーネットを解除する	10
パニックモード(強制サイレン).....	11
外部機器のコントロール.....	12
ハイセキュリティ解除™.....	14
パレーモード.....	15
ロングタームイベントヒストリー	16
強制解除.....	17
強制解除入力回数選択	17
ダイアグノスティック™ 機能.....	18
ゾーンID一覧.....	19
各センサーの特長	20
ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン2】.....	20
ドアトリガー®【ゾーン3】.....	20
オプションセンサー【ゾーン4】.....	21
イグニッション ON センサー【ゾーン5】.....	21
機能設定	22
機能設定一覧表	22

その他の機能・特長	25
セレクトابلサイレン	25
ライトフラッシュ	25
パワーセーバーモード	25
ソフトチャージ	25
NPC 機能(迷惑防止回路)	26
トラブルシュート	27
故障かな?と思ったら	27
アフターサービスについて	28
アフターサービスについて	28
保証書について	28
修理を依頼されるときは	28
お問い合わせ先・製品仕様	29
保証規定	30

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

- エンジンルーム内にサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切していません。
- 本製品は高音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

- DC12V 車両専用
24V 車両には装着できません。



通信についての注意

注意

- 本製品は KDDI (株) の通信ネットワークを利用したシステムです。電波の届かない場所や不安定な場所ではご利用いただけません。
- 通信エリア内であっても装着車が地下駐車場等の駐車環境によっては通信機能をご利用できない場合があります。
- 当社または KDDI (株) の電気通信設備の保守上または工用上やむを得ないとき、戦争・天変・地変その他自然災害等予期せぬ事象により電気通信設備を中止するときは、できる限りサービス契約者に通知しますが、通知することなく利用が停止される場合があります。
- 本製品は通信サービス契約の規定に基づいて運用されます。ご契約書記載の内容を十分にご理解いただいた上でご利用ください。

使用上の注意

注意

- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消費具合が異なります。1 週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。



必ずお読みください

- 国産車限定
車両の機能によっては一部機能が使用できない場合があります。車種により本製品の接続が不可能な場合があります。並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っていません。
- ダブルガードショックセンサーは取り付ける位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品の機能のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。

製品の説明

HORNET (ホーネット)とは

HORNETは、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置(カーセキュリティシステム)です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。

また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

本書に出てくる主な用語の解説

警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告：

サイレンからの音 : ビッビッビ……
 スモールライトの点滅 : 2回

警報：

サイレンからの音 : ビービービー……!!
 スモールライトの点滅 : サイレン鳴動中

確認音

HORNET の各操作を行うたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムのON(作動)／OFF(解除)時に鳴る確認音をとくにクリックトーン(動作確認音)と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

370Vの梱包物

(取り付けの前に必ずご確認ください)



その他

取扱説明書×1冊、取付説明書×1冊、ホーネットステッカー×1シート、お客様登録カード×1枚
 全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚、確認チェックシート×1枚
 スマートクイックご利用の手引き×1冊、通信契約お申し込み手引き×1枚

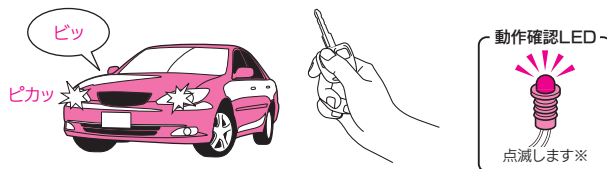
※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
 側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
 ※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

リモコンのボタンについて

本製品の操作は、純正のキーレスエントリーリモコン(以下リモコン)によって行います。リモコンの種類によって操作方法や範囲が異なりますのでご注意ください。

ホーネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンのロックボタンを1回押して、ドアをロックします。
- 3 “ビッ”と1回クリックトーン®が鳴ってシステムがONになったことを知らせます。



※システム作動中には、動作確認LEDが点滅を続けます。

※システムをONにした際にクリックトーンが1回鳴った後、3秒後に再度鳴った場合には、システムをONにした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.19)は動作確認LEDで確認してください。

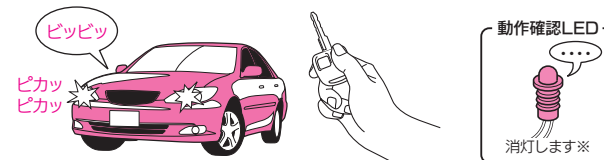
ヒント

機能設定でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステムON / OFF時の確認音を鳴らさなくすることができます。

ハザードランプを点滅した状態ではシステムをON / OFFできない場合があります。

ホーネットを解除する

- 1 システム作動中、リモコンのアンロックボタンを1回押してドアをアンロックしてください。
- 2 クリックトーン®が2回“ビッビッ”と鳴ってシステムがOFFになったことを知らせます。



※システムをOFFにした際にクリックトーンが4回または5回鳴った場合には、システムがONの間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.19)は動作確認LEDで確認してください。

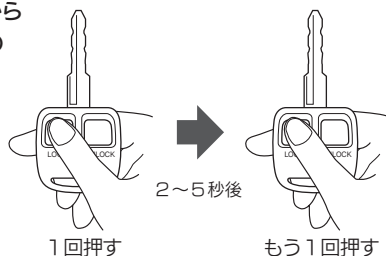
ヒント

- 機能設定でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステムON / OFF時の確認音を鳴らなくすることができます。
- ハザードランプを点滅した状態ではシステムをON / OFFできない場合があります。

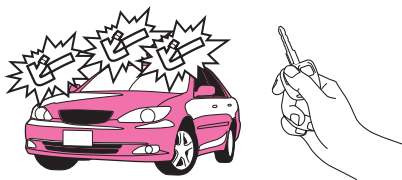
パニックモード(強制サイレン)

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。途中で警報を止めたい場合にはアンロックボタンを押してドアをアンロックしてください。警報が止まりシステムが ON 状態になります。

- 1 リモコンのロックボタンを押してから2～5秒以内にもう一度リモコンのロックボタンを押します。



- 2 強制的に警報を鳴らすことができます。



パニックモード

警報は設定した秒数鳴ります。(P.22 参照)

※パニックモードによって最後まで警報が鳴り続いた場合、システムは ON 状態となります。
 ※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目異なる車両では使用できない可能性があります。
 例：車両のドアがロックしている状態で、リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両
 ※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンの場合、使用できません。

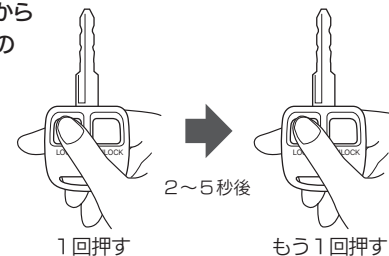
外部機器のコントロール

リモコンの操作もしくはスマートクイックから外部機器のコントロールができます(チャンネル出力)。これにより、パワースライドドアやトランクオープナー、サンルーフ等のコントロールがリモコンで操作できます。

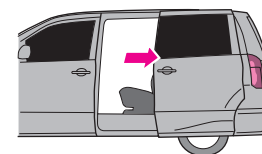
●トランクオープナーなど外部機器のコントロールを行うには別途オプション品のご購入、取り付けなどが必要となる場合があります。

チャンネル2

- 1 リモコンのロックボタンを押してから2～5秒以内にもう一度リモコンのロックボタンを押します。



- 2 チャンネル2が出力します。操作後に約0.8秒出力します。



<一例>

※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目異なる車両では使用できない可能性があります。
 例：車両のドアがロックしている状態で、リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両
 ※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンの場合、使用できません。

ヒント

チャンネル2を使用する場合は機能設定項目13を「チャンネル出力」に変更してください。「チャンネル出力」を選択した場合はリモコンの操作でパニックモードが使用できなくなります。

チャンネル3

チャンネル3の操作はスマートクイックからのみ行うことができます。
スマートクイックからの操作後に約0.8秒出力します。



ヒント

外部機器のコントロールには別途オプションが必要になります。また別途取り付けが伴うため、取付店にご相談ください。車種によりコントロールできない外部機器があります。

ハイセキュリティ解除™

警報が鳴っている最中にシステムを OFF にせずに、警報のみを止めることができます。
システムが OFF 状態にならないため、システムを再度 ON する必要がありません。

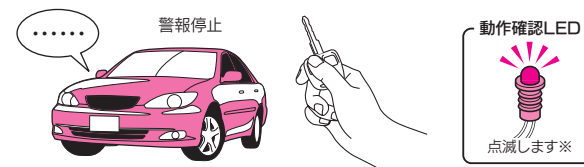
1 警報開始

システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。



2 ハイセキュリティ解除™

警報中にロックボタンを押すと警報のみが止まり
引き続き ON 状態を続けます。



※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます (P.19) が、ハイセキュリティ解除™を行うとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。

※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンでは使用できません。この場合、ハイセキュリティ解除にはならず、システムが OFF します。

※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目で異なる車両では使用できない可能性があります。

例：車両のドアがロックしている状態で、リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両

パレーモード

パレーモードとはシステムが ON にならないようにするモードです。車検などで車両を預ける場合にセキュリティ機能が必要なければ、このモードに設定してください。

ヒント

- パレーモードは下記操作を行うたびに作動／解除が繰り返されます。
- 点灯した動作確認 LED は、一定時間 (60分) エンジンを開始しないと、バッテリーを保護するために消灯します。
- 運転中は動作確認 LED は消灯します。

設定方法は以下の通りです。

パレーモード作動／解除方法：プログラムスイッチを使用してパレーモードへの切り替えを行う場合

- 【ステップ1】イグニッションキーを ON にしてからすぐに OFF にします。
- 【ステップ2】ステップ1のあと10秒以内にプログラムスイッチを5秒間押し続けます。
- 【ステップ3】動作確認 LED の点灯状態を確認します。

※パレーモード作動：消灯→点灯
解除：点灯→消灯

ロングタームイベントヒストリー

最新の警報履歴を、動作確認 LED の点滅によって過去6回までさかのぼって確認できます。

1 イグニッションキーが OFF の状態でプログラムスイッチを押し続けます。

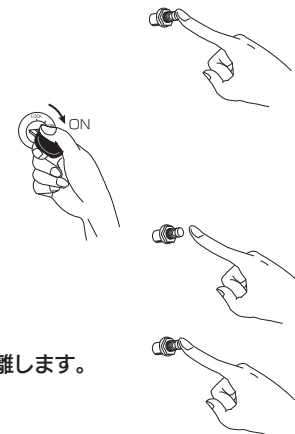
2 イグニッションキーを ON にします。

3 プログラムスイッチを離します。

4 5秒以内にプログラムスイッチを押して離します。

5 新しい順に過去6回までさかのぼり、動作確認 LED の点滅回数で警報履歴を確認できます (ゾーン ID / P.19 参照)。

6 60秒経過するか、イグニッションキーを OFF にすると動作確認 LED は消灯します。



強制解除

何らかの理由でリモコンでシステムを解除できなくなってしまった場合、システムを強制的に解除することができます。

1 イグニッションキーを ON にします。
——— 5秒以内に次の操作を行ってください。



2 プログラムスイッチを設定回数分 1秒ほど押します (初期設定 1回)。
例) 3回で設定の場合は、3回押します。

※プログラムスイッチを押し続けたり、設定回数以外押すと解除しません。



3 1秒半から2秒ほどでシステムが OFF になります。



ヒント

強制解除を行った場合、ダイアグノスティック™機能はリセットします。

強制解除入力回数選択

強制解除に必要なプログラムスイッチを押す回数を 1～5回の任意に選択できます。初期設定は 1回に設定されています。

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合にその原因をある程度特定することができます (ダイアグノスティック™ 機能)。

クリックトーンやライトフラッシュの回数により、発報の有無などの確認が行えます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行います (センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音	ライトフラッシュ
システムON	システムON	ビッ	1回
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムON	ビッ 約2～3秒後 ビッ	1回
システムOFF	システムOFF	ビッビッ	2回
システムOFF	警報が鳴った後にシステムOFF	ビッビッビッビッ	3回
システムOFF	NPCが動いている状態でシステムOFF	ビッビッビッビッビッ	3回

動作確認 LED の点滅回数により、センサーの反応状態の確認が行えます。

システムの状態	動作確認 LED の状態
システム作動中	通常点滅 (1 回点滅)
半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON	60 秒間、反応しているゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
警報中	反応したゾーン ID 数点滅
警報終了後	60 秒間、反応したゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
ハイセキュリティ解除時	通常点滅 (1 回点滅)
警報があった後にシステム OFF	最後に反応した 2 回分のゾーン ID 数を交互に点滅

ゾーンID一覧

各センサーやトリガーには、それぞれ固有のゾーンIDが割り当てられています。

ゾーンID	センサー/トリガー	反応内容
2	ダブルガードショックセンサー	強い衝撃が加えられた
3	ドアトリガー	ドアが開けられた反応
4	オプションセンサー	オプションセンサーが反応
5	イグニッションONセンサー	イグニッションがONになった



ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システム OFF 中にイグニッションキーを ON にするか、セキュリティを ON にするとリセットします。



注意

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出した2回分のゾーンに対してレポートします。警報があったすべての原因がわかるものではありません。

ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン2】

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる衝撃を強弱2段階で自動判別して、警告または警報を鳴らして威嚇するためのセンサーです。風などの「揺れ」にはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出できます。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（他車の走行振動、航空機の飛行時などから伝わる振動、台風その他）により微振動や衝撃波を検出して犯罪発生時以外にも警報が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

※本センサーでは傷つけを防ぐことはできません。



ドアトリガー®【ゾーン3】

システム ON 時にドアを開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。



各センサーの特長

オプションセンサー【ゾーン4】

本製品には、様々なオプションセンサーを追加することができます(別売)。用途に応じてご利用ください。

取付可能なオプションセンサーの一例

ガラス割りに対して

- ・音感センサー (506T)

車内への侵入に対して

- ・超音波センサー (509U)

車両の傾きに対して

- ・デジタル傾斜センサー (633P) ほか

イグニッションONセンサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。

システムON中に、エンジンをかけようとするすると警報を鳴らして威嚇します。



機能設定項目9を「シャント」に変更した場合、エンジン作動中はドアトリガー【ゾーン3】のみ働きます。

機能設定一覧表 下線が初期設定

項目 No.	メニュー	
1	<u>緊急通報条件 警告時+警報時</u>	緊急通報条件 警報時
2	警報後の位置検索機能 ON	警報後の位置検索機能 OFF
3	<u>センサー異常通報 ZONE 2 ON</u>	センサー異常通報 ZONE 2 OFF
4	<u>センサー異常通報 ZONE 3 ON</u>	センサー異常通報 ZONE 3 OFF
5	<u>センサー異常通報 ZONE 4 ON</u>	センサー異常通報 ZONE 4 OFF
6	<u>センサー異常通報 ZONE 5 ON</u>	センサー異常通報 ZONE 5 OFF
7	クリックトーン ON	クリックトーン OFF
8	サイレンタイム 30秒	サイレンタイム 5 / 10 / 15 秒
9	<u>イグニッションセンサー入力 センサー</u>	イグニッションセンサー入力 シャント
10	警告設定 警告音+ライトフラッシュ	警告設定 ライトフラッシュ
11	強制解除入力回数 1回	強制解除入力回数 2 / 3 / 4 / 5回
12	リアーム OFF	リアーム ON
13	パニックモード	チャンネル出力
14	<u>イグニッションON中パニック ON</u>	イグニッションON中パニック OFF
15	NPC ON	NPC OFF

 ヒント

機能設定はスマートクイックから行います。

スマートクイックについては「スマートクイックご利用の手引き」をご確認ください。

1. 緊急通報条件 警告時+警報時/警報時

センサー異常による緊急通報の条件を警告・警報時に行くか、警報時のみ行くかの選択ができます。

2. 警報後の位置検索機能 ON / OFF

センサー異常による警報後、5分毎に50回位置検索を行うか行わないかの選択ができます。

3. センサー異常通報 ZONE 2 ON / OFF

ZONE 2 (ダブルガードショックセンサー)での警報時に緊急通報を行うかの選択ができます。

OFFに設定した場合はZONE 2の警報時に緊急通報を行いません。

4. センサー異常通報 ZONE 3 ON / OFF

ZONE 3 (ドアトリガー)での警報時に緊急通報を行うかの選択ができます。

OFFに設定した場合はZONE 3の警報時に緊急通報を行いません。

5. センサー異常通報 ZONE 4 ON / OFF

ZONE 4 (オプションセンサー)での警報時に緊急通報を行うかの選択ができます。

OFFに設定した場合はZONE 4の警報時に緊急通報を行いません。

6. センサー異常通報 ZONE 5 ON / OFF

ZONE 5 (イグニッション ON センサー)での警報時に緊急通報を行うかの選択ができます。

OFFに設定した場合はZONE 5の警報時に緊急通報を行いません。

7. クリックトーン ON / OFF

システムのON時とOFF時の確認音の有/無を選択できます。

8. サイレンタイム 30秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒

警報時間を選択できます。

9. イグニッションセンサー入力 センサー/シャント

イグニッション ON の入力を異常としてとらえて警報を鳴らすか、エンジンスターターと判断して各センサーをスリープさせるかの選択ができます。

エンジンスターターと併用するときには、「シャント」に設定してください。

10. 警告設定 警告音+ライトフラッシュ/ライトフラッシュ

ダブルガードショックセンサーやオプションセンサーが反応したときの警告を音とライトフラッシュから選択できます。

11. 強制解除入力回数 1回 / 2回 / 3回 / 4回 / 5回

強制解除スイッチ入力回数を選択できます。

12. リアーム OFF / ON

セキュリティを解除(ディスアーム)したあと、60秒以内にドアを開ける、またはイグニッションをONにする(エンジンをかける)のどちらかが行われなかった場合、自動的にシステムを作動(アーム)します。

13. パニックモード パニックモード/チャンネル出力

リモコンを操作した時にパニックモードを使用するか、チャンネル2出力を使用するかが選択できます。

14. イグニッション ON 中パニック ON / OFF

イグニッション ON 中にパニックモードが使用できるか、使用できないかを選択することができます。

設定を「ON」にした場合はイグニッション ON 中でもパニックモードになります。

設定を「OFF」にした場合はイグニッション ON 中にはパニックモードになりません。

15. NPC ON / OFF

NPC 機能(取扱説明書 P.26)のON / OFF を選択できます。

セレクトابلサイレン

犯罪心理学を研究して選ばれた犯罪抑止効果の高い6つの音色で構成されています。音量は最大約128dBで撃退効果は抜群です。

音色は6種類、音量は4段階から選択できます。

※設定方法に関しては、別紙取付説明書をご覧ください。

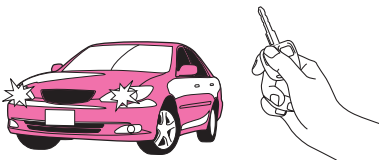
※初期設定は5音色目の音のみ鳴ります。



ライトフラッシュ

システムのON / OFF時、警告時、警報時にクルマのスマールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

ピカッ



パワーセーバーモード

パレーモード時、約1時間イグニッションキーをONにしないと動作確認LEDは消灯します。

動作確認LED消灯後、イグニッションキーをONにしてOFFにすると再度、動作確認LEDは点灯します。

ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行われます。セレクトابلサイレンについている黒色のループ線を切断することで、警報と同じ音量になります。

NPC機能(迷惑防止回路)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

●反応したセンサーに関わらず、8回センサーが反応し、警報を発報した場合は一度システムをOFFしない限り、警報が鳴らなくなります。

※警告は鳴ります。



NPCをリセットするには？

システムOFFにするとリセットされます。

故障かな？と思ったら

症状と原因	対策
☆勝手に警報が鳴る <ul style="list-style-type: none"> ダブルガードショックセンサーの固定が不十分 各センサーの感度が高すぎる ダブルガードショックセンサーの感度が高すぎる 	確実に固定してください。 センサーの感度を絞ってください。 感度を絞ってください。
☆セキュリティを ON した後、数秒後に「ビッ」と鳴る <ul style="list-style-type: none"> センサーレポート機能が働いている 	詳細は P.18 を参照してください。
☆ドアを開けても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> システムを ON してから 5 秒以上待っていない ドアトリガー線の接続不良 	システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> システムを ON してから 5 秒以上待っていない 車体を揺らしている 感度が低すぎる ダブルガードショックセンサーの固定位置が最適でない NPC 機能が働いている 	システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 衝撃の伝わりやすい位置に固定してください。 システムを OFF してからエンジン始動して NPC を解除してください。
☆オプションセンサーが働かない <ul style="list-style-type: none"> システムを ON してから 5 秒以上待っていない 感度が低すぎる テスト方法が違っている 	システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 感度を上げてください。 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 (オプション付属の説明書参照)
☆セキュリティが作動しない <ul style="list-style-type: none"> 動作確認 LED が点灯している 黄色線を常時電源に接続している 	パレーモードを解除してご利用ください。(P.15 参照) 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から 1 年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな？と思ったら」(P.27)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店またはお客様サポートセンター (P.29) にご相談ください。お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番、シリアル番号
(例: ホーネット 370V 3702204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

営業時間 月～金 10:00～17:00 (祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。



製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流 (待機時)	約18mA (動作確認LED含む)
●平均消費電流 (警報時)	約1.5A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40℃～+85℃ (セキュリティ機能)
●メインユニット外形寸法	約131×101×35mm
●質量	約210g

《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご送付いただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外(有償)となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのホーネット取扱店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外(有償)となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品(電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど)の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものではありません。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10